

病気や悩み抱える人と交流の場に

F Mうじ、3日から毎水曜放送

難病女性ラジオ番組担当

「生きる力与えたい」



全身の筋肉が徐々に委縮し、生命にも危険が及ぶ病気「遠位型ミオパチー」と闘う宇治市広野町の中岡亜希さん(32)が十二月三日から、地元ラジオ局「FMうじ」のパーソナリティーとして自身の病気や将来の夢などを語る新コーナー「空と向日葵」を担当する。

中岡さんは、航空会社で客室乗務員をして

関係者とともにパーソナリティーへの意気込みを話す中岡さん(左)

宇治市役所

いた一九九九年に発症。四肢が衰えた現在は退職して自宅で車いす生活している。握力は、はしも持てぬほど低下しているが、会話などに不自由はない。

担当するのは、毎週水曜日午前十一時五分から十分間。病気を告げられた時の思いや病気になってからの経験、精神面で仲間に救われたことや生きる意味などを話す。視聴者からのメッセージも受け付け、病気や悩みを抱える人たちとの交流の場にするという。中岡さんは「前向きに生きる力や希望を与えられるコーナーにした」と意気込んでいる。放送内容は同局ホームページからインターネットでも配信される。(野田佑介)